

トヨタ自動車株式会社
2015年3月 ISO50001 認証取得国内自動車メーカー初!



1. 会社紹介

会社名	: トヨタ自動車株式会社
創立	: 1937年8月28日
資本金	: 3,970億5千万円(2014年5月現在)
連結売上高	: 25,691,911百万円(2013年4月1日～2014年3月31日)
自動車販売台数(連結)	: 911万6千台(2013年4月1日～2014年3月31日)
従業員数(連結)	: 338,875人(2014年3月末現在)
主な事業内容	: 自動車の生産・販売
会社 URL	: http://www.toyota.co.jp

2. 導入の背景

トヨタ自動車は環境を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、取り組みを進めています。環境に関する理念と方針は、1992年に制定された「トヨタ基本理念」のもと、環境取組方針を「トヨタ地球環境憲章」として定めています。この方針に基づき、HV車、燃料電池車等の環境性能に優れた車両の開発・提供や排出物を出さない生産活動を追求しています。

更に、中期活動計画として、「トヨタ環境取組プラン」(5カ年)を定め、エネルギー低減目標等を設定し、継続的な削減を推進しています。生産分野では工場・工程のシンプル・スリム化等、革新的低CO2生産技術の開発と導入を進め、CO2排出量原単位としてトヨタ自動車では、01年度0.73ト

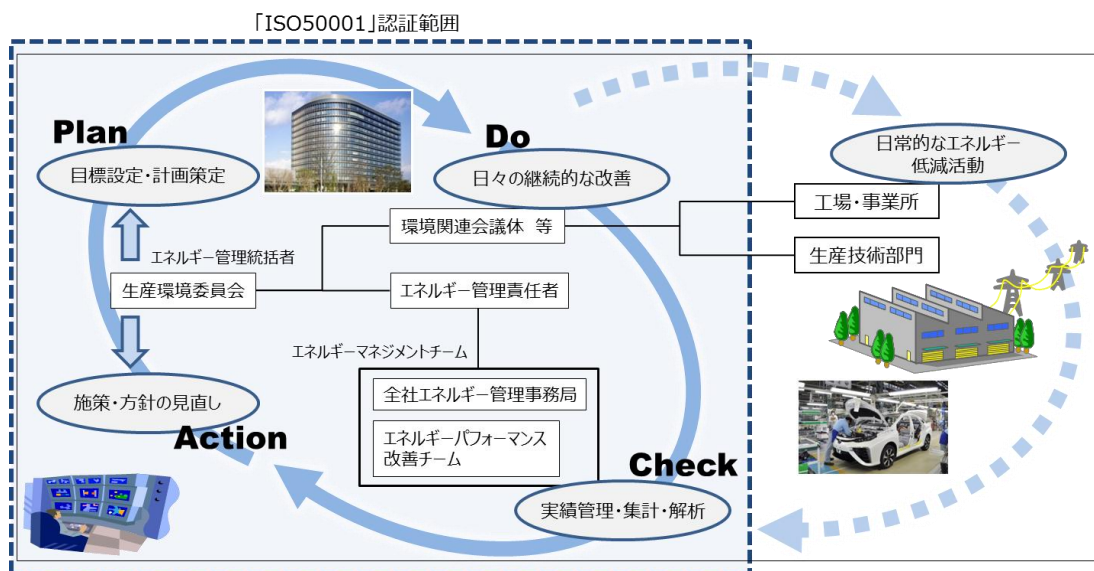
ン/台から、13年度 0.41トン/台へと44%削減しています。グローバルについても同様に取り組みを進め削減を推進しています。

このような活動を進める一方、地球温暖化問題など社会的な動向・背景を踏まえ、トヨタ自動車を取り巻く環境を鑑みると、一層のCO2低減が期待されていると認識しており、更なる効率的なCO2低減の手段の一つとして、今回新たなチャレンジとなるエネルギー管理システムの導入を目指すことを決断しました。

3. 認証取得への取り組み

トヨタ自動車では、これまでも工場・事業所が中心となってエネルギーの見える化などによる日常的なエネルギー低減活動を推進していましたが、さらに会社全体として「ISO50001」に基づくエネルギー管理の仕組みを導入・活用することで、より実効性の高い管理体制を構築することができると考え、2014年初頭より「ISO50001」認証取得に向けたエネルギー管理体制の検討を開始し、段階的にシステム構築・運用に取り組んできました。具体的には全社エネルギー管理事務局を核としたエネルギー管理チームを結成し、エネルギー管理・改善を全社的に強力に押し進める体制を構築しています。

トヨタ自動車のエネルギー管理概要 および「ISO50001」認証範囲



4. システム導入のメリット

今回の認証取得を機会として、全社エネルギー管理事務局を中心にこれまで以上に、計量区分、計量器保全、エネルギーの見える化等の取り組みを進め、更なるエネルギーの低減箇所の発掘や、効率的な対策支援を目指しています。

また、ISO50001のプロセスを活用してシステムティックなエネルギーマネジメントの仕組みを構築し、組織としてPDCAを計画的に回し、経営資源の効率的な投入による最大限の効果を発揮することを目指しています。

5. 今後の活動

エネルギー使用量(CO2 排出量)原単位について、第5次環境取組プラン(対象年度 2011年～2015年度)では、2001年比43%減を目標として掲げ推進しており、第6次環境取組プラン(2016～2020年)でも継続して削減目標を設定して取り組みを推進して参ります。

今回のマネジメントシステム導入効果として期待しているさらなるエネルギーの見える化、低減箇所の発掘等の取り組みがこれらの目標の達成に寄与するものと期待しています。

今後は、今回の取り組み成果を踏まえノウハウを蓄積し、工場や生産技術部門に対しても成果を共有・展開し、さらなるエネルギー低減活動を推進していきます。

トヨタ自動車はこれからも、環境を経営上の最重要課題の一つと位置づけ、クルマの開発・設計、生産、物流、販売のあらゆる段階、すべての事業領域においてゼロエミッションに取り組んで参ります。

<エネルギーマネジメント認証審査>



<エネルギーマネジメントチーム>



以上